

**目次**

日本情報考古学会第20回大会開催の案内.....	1
日本情報考古学会第19回大会報告.....	2
会費納入のお願い.....	3
会報への広告掲載について.....	3

**日本情報考古学会第20回大会****の関東学院大学(神奈川)開催のご案内**

日本情報考古学会 第20回大会の開催が下記のように決まりましたので、ご案内いたします。第20回の大会では、特別講演ならびに「考古学研究者から情報学研究者への“提案”－コラボレーションの可能性と蓋然性の再考(仮題)」シンポジウム等を現在計画中です。多くの学会員の参加をお待ちしております。

日時：平成17年9月23日(金 秋分の日), 24日(土)  
会場：KGU (関東学院大学) 関内メディアセンター  
大会実行委員長：後藤敏行 (横浜国立大学)  
大会実行副委員長：金田徹 (関東学院大学)

23日(金)一般講演, 特別講演,  
24日(土)一般講演, シンポジウム

**<研究発表の募集>**

第20回大会での講演をご希望の方は、

- ・題目
- ・発表者
- ・所属
- ・連絡先

(住所・電話・ファックス・電子メール)

- ・発表に使用する機器等

を電子メール、ファックス、郵送のいずれかで以下の申し込み先までお申し込み下さい。

申込先：

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3  
同志社大学文化情報学部 津村研究室内  
日本情報考古学会事務局  
Tel./Fax. : 0774-65-7664  
E-mail : htsumura@mail.doshisha.ac.jp

**申込〆切：平成17年8月26日(水)**

なお、講演申し込みに関する詳細については、「研究発表について」(<http://chihara.aist-nara.ac.jp/gakkai/JSAI/kouen.htm>)を参照して下さい。

**<研究発表について>****1) 発表内容**

遺物・遺構形状の計測技術、あるいはそれらのデータの計量分析、理化学的データの収集とその解析手法、考古学的事象をめぐるコンピュータ・シミュレーション、インターネットなど新たな通信基盤を介しての研究者間のデータ共有や共同研究をめぐる技術、多様な考古学的情報に関わる幅広い分野の学際的研究を募ります。

**2) 発表時間**

質疑応答を含んで、発表1件当り30分を予定しています。(発表件数などによって変更することがありますのでご了承ください。)

**3) 予稿集原稿提出**

予稿集原稿は**6枚程度**です。原稿の枚数を厳守の上、偶数ページに収まるよう作成下さい。原稿作成の詳細につきましては<http://chihara.aist-nara.ac.jp/gakkai/JSAI/youshi.htm>を参照して下さい。また、予稿原稿には600字程度の要旨をつけて下さい。この要旨は、学会

誌である『情報考古学』に大会発表報告として掲載されますので、よろしくお願ひいたします。

### 申込〆切：平成17年9月10日(土)

学会事務局必着となっています。

#### 4) 予稿集の編集について

ご送付いただいた原稿を直接写真製版いたしますので、筆者による校正の機会はありません。完全原稿を御提出下さい。なお、提出された予稿の原稿は、原則として返却いたしません。予め各自でコピーを保存して下さい。

#### 5) 発表資格

発表者に一人以上の会員が含まれることが応募の条件となります。

#### 6) 発表機材

OHP プロジェクタと液晶プロジェクタが利用できる見込みです。その他の機材が必要な方は、事務局に御相談ください

### 日本情報考古学会第19回大会報告

日本情報考古学会第19回大会は、平成17年3月26日(土)、27日(日)の二日間、帝塚山大学学園前キャンパスにおいて開催されました。大会において発表された研究内容は以下の通りです。

#### 〈第一日目〉

##### 研究発表1

天目隆平・神原誠之・横矢直和  
(奈良先端科学技術大学院大学)  
「平城京ナビ」—拡張現実感を利用したウェアラブル型観光案内システム—

##### 研究発表2

小笠原和慶・八重樫純樹(静岡大学大学院)  
考古学資料情報のXML記述とXSLT-RSSを用いたデータ配信への応用

##### 研究発表3

梅田昭宏(大分市教育委員会)  
発掘調査における電子化の方向性について—事例の再整理から—

##### 研究発表4

河越彩子・中園聡(鹿児島国際大学)  
遺構出土傾向から見た土器の用途—主成分分析を用いて

##### 研究発表5

竹内啓二  
陪塚の位置情報による前方後円墳—陵墓地形図(宮内庁蔵)原図青刷りのデジタル処理から—

##### 研究発表6

宝珍輝尚(大阪府立大学)  
階層に基づく遺物・遺構の情報管理について

##### 研究発表7

津村宏臣(東京芸術大学)  
デジタル写真測量技術による文化財形状評価—文化財のマネージメントとモニタリングの視座から—

##### 研究発表8

三辻利一(鹿児島国際大)・三田敦司(吉良町教育委員会)  
吉良町の古墳出土埴輪、土師器、須恵器の蛍光×線分析

#### 特別講演

酒井龍一(奈良大学)  
畿内弥生社会の基本枠組：酒井モデルはまだ有効か？

#### 懇親会

#### 〈第二日目〉

##### 研究発表9

植木武(共立女子短期大学)・吉野諒三(統計数理研究所)・村上征勝(同志社大学)  
千葉県縄文貝塚データベース分析(Ⅱ)—縄文後期—

##### 研究発表10

西村淳(函館大学)  
前方後円墳の高さの規格について(2)

##### 研究発表11

中島睦夫  
日本語の醸成と国家形成の萌芽ならびにその展開

##### 研究発表12

永瀬史人(青山学院大学)  
居住形態と土器型式—空間分布の相関性について—

研究発表13

黒木梨絵・中園聡 (鹿児島国際大学)  
土器におけるカテゴリー構造の時間的変化—北部九州弥生時代前期甕形土器の分析—

研究発表14

川宿田好見・中園聡 (鹿児島国際大学)  
多変量解析を用いた弥生土器の地域性—北部九州の須玖Ⅱ式土器を用いて—

特別講演

森岡秀人 (芦屋市教育委員会)  
分業・流通・情報—弥生の世界—

研究発表15

清水宣義 (金沢学院大学)  
古墳葺石の施工方法—石川県雨の宮1号墳を中心として

研究発表16

福田匡朗 (岡垣市教育委員会)  
西日本における弥生時代後期から古墳時代初頭にみられる韓半島系土器の様相—分光測色計の考古学への応用事例から—

研究発表17

堅田直  
非対称型前方後円墳の出現

「情報考古学」の発送と論文募集

本学会の研究論文誌「情報考古学」の次号 Vol. 11, No. 1 は、次回大会時に刊行・配布予定です。多くの会員の方からの投稿を期待しております。投稿に関するご連絡および投稿は、下記の植木副委員長までお願いいたします。

連絡先

〒101-8433  
東京都千代田区一ツ橋 2-2-1  
共立女子短期大学生活科学科  
植木武(会誌編集委員会副委員長)  
Tel : 03-3237-2524  
Fax : 03-3237-2692

会費納入のお願い

各位におかれましては、学会運営をスムーズに行うため、会費の納入にご協力をお願い致します。また会員数の増加も緊急の課題です。会員数倍増に向けご協力をお願い致します。

会報への広告掲載について

日本情報考古学会報に、今後も継続的に広告を掲載し、会報の郵送費等に当てることができると考えております。会員の皆様もお心当たりがございましたら、ご紹介下さい。

学会事務局の変更について

日本情報考古学会事務局は、本年度6月を持ちまして奈良先端科学技術大学院大学・千原國宏研究室から、同志社大学文化情報学部・津村宏臣研究室に移動いたしました。今後ともよろしくお願いたします。

また、事務局の移転にともない、会報の発送と報告が大変遅れましたこと、会員の皆様には深くお詫びいたします。

日本情報考古学会会報 No.18  
発行 日本情報考古学会  
2005年7月20日  
〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1-3  
同志社大学文化情報学部 津村研究室内  
日本情報考古学会事務局  
Tel/Fax : 0774-65-7664  
E-mail : htsumura@mail.doshisha.ac.jp